

YAESU

ワイヤレスリモコンマイク MW-2



ワイヤレスリモコンマイク“MW-2”は当社の“MW-2”対応トランシーバーを最大で5メートルくらいの距離からリモコン操作するためのもので、受光部ユニットおよび発光部ユニットから成り立っています。

受光部ユニット

受光部ユニットは、無線機本体に取り付けるものです。

受光部ユニットの8ピンコネクターをトランシーバー本体のマイク端子に接続してください。

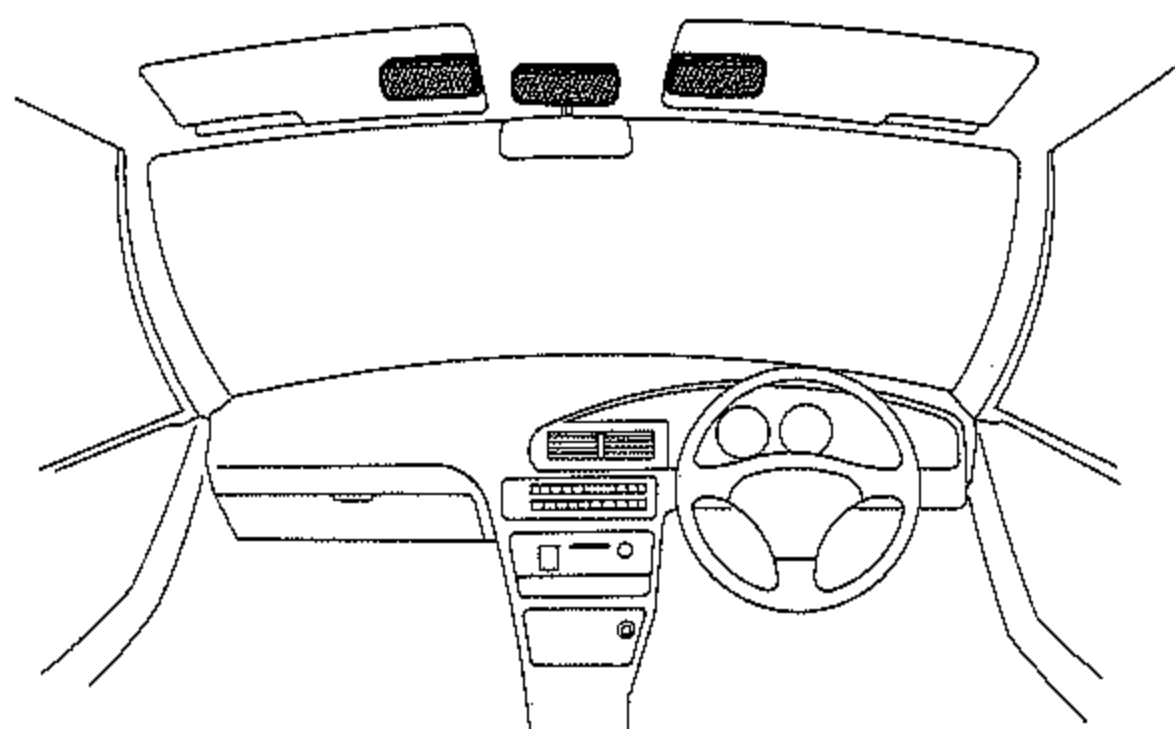


注 8ピンコネクターをトランシーバー本体のマイク端子に接続するときには、トランシーバー本体の電源を必ず“OFF”にしてください。

長さ約3メートルの受光部ユニットのコードは、発光部ユニットからの微弱電波の受信アンテナとしても動作していますので、マイクからの変調信号をもっともよく受信できるように、たわみのないよう設置してください。

また、受光部ユニットは、直射日光が当たらない場所を選んで設置してください。（第1図参照）

この部分に直射日光が当たると、太陽光に含まれている赤外線により、誤動作の原因になることがあります。



第1図

受光部ユニットの取り付け場所として考えられるところ。直射日光が当たらない場所を選んで設置してください。

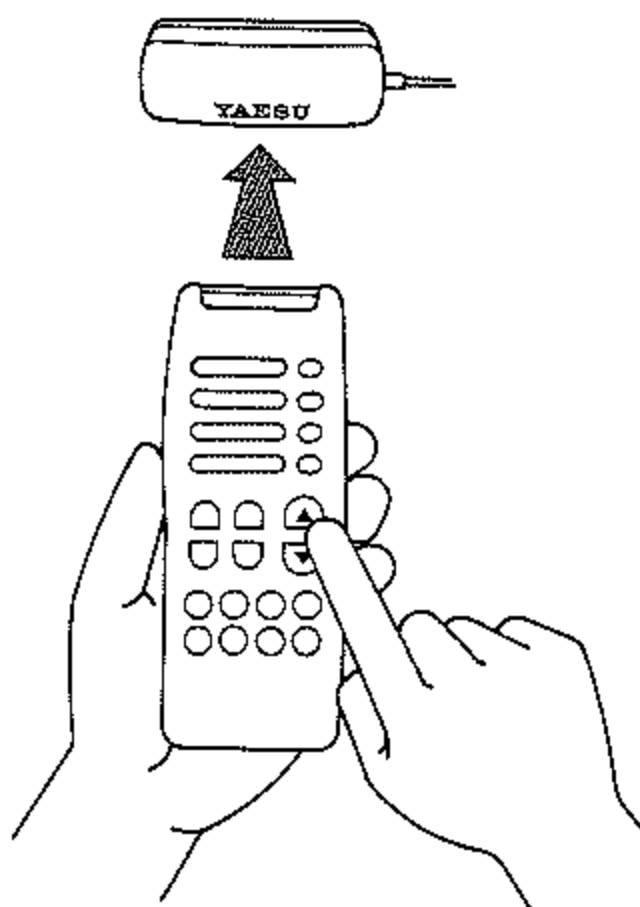
発光部ユニット

トランシーバーのパネル面にあるすべてのキー（ただし電源のON/OFFスイッチを除く）、およびツマミを発光部ユニットのキーにより、リモコン操作することができます。

また、発光部ユニットにあるPTTスイッチを押すと、トランシーバーは送信状態になり、49.85MHzの微弱電波により、マイクからの音声をトランシーバーに送ることもできます。

なお、リモコン操作できる距離は、周囲の状況によっても多少変化しますが、受信アンテナ（受光部ユニットのコード）を最大に伸ばして設置すれば、約5メートルくらいまでの範囲でリモコン操作を行うことができます。

PTTスイッチを押して送信するときには、発光部ユニットをどのような位置に置いて使っても差しつかえありませんが、PTTスイッチ以外のキーを操作する場合には、受光部ユニットに向けて操作をする必要があります。（第2図参照）



第2図

発光部ユニットの先端を、受光部ユニットに正しく向けてからキーを押してください。

発光部ユニットの機能は、つぎの通りです。

キーの名称	主 な 機 能
0～9, A～D, *, #	受信中の0～9は、送受信周波数のダイレクトキー入力として動作します 送信中の0～9, A～D, *, #はDTMFとして動作します
 	UP/DWNキーとして動作します (トランシーバーに付属しているマイクロホンのUP/DWNキーと同じ動作をします)
D/MR, SKIP	ダイヤルモードとメモリーモードの切り換え、およびメモリーチャンネルスキップ機能の設定
MHz, PRI	MHz桁の設定とプライオリティ機能
RPT, R.SET	レピーター運用とシフト幅の設定
REV, STEP	送受信周波数リバース運用、およびステップ幅とスキャンモードの設定
USER	使用する機種によって機能が異なります 詳しくは、トランシーバーの取扱説明書に記載してある“ワイヤレスリモコンマイクMW-2の使いかた”のページをご覧ください
PAGE	ページャー機能およびページャーコードの設定
SQL  	スケルチレベルの調整
VOL  	受信時の音量調整

BAND	送信バンドと操作バンドを切り換えます ※ トランシーバー本体にバンド切り換え機能がない機種では使用できません
CALL, DTMF	コールチャンネルの呼び出しとDTMFメモリー機能
LOW, LOCK	送信出力のHIGH/MID/LOWの切り換えとロック機能
TONE, T.SET	トーンスケルチ機能の設定とトーン周波数の設定
ACC	使用する機種によって機能が異なります 詳しくは、トランシーバーの取扱説明書に記載してある“ワイヤレスリモコンマイクMW-2の使いかた”のページをご覧ください
A/N	アルファニューメリック機能 ※ トランシーバー本体にアルファニューメリック機能がない機種では使用できません
RMC	リモコン機能のON/OFFスイッチ ※ RMCキーは、発光部ユニットの電源のON/OFFではありません
F/W	ファンクション機能のON/OFF

※ ここに示した表は、それぞれのキーの動作について、概略を説明したものです。
詳しくは、トランシーバーに付属の取扱説明書をご覧ください。

発光部ユニットの操作

1. トランシーバーの電源スイッチをONにします（受光部ユニットの8ピンコネクターは、トランシーバー本体の電源がOFFの状態で接続してください）。
2. 発光部ユニットの **RMC** キーを押して、トランシーバーをリモコン状態にします。



トランシーバー本体がリモコン状態になっていないとき（リモコン状態の表示は機種により異なります）には、MW-2のキー操作は **RMC** キーとPTTスイッチを除き受け付けません。また、キーを押してリモコン信号を送るときには、発光部ユニットを受光部ユニットに正しく向けて操作してください。

3. 必要に応じて、発光部ユニットのキーを押し、トランシーバーの動作状態を設定します。

キーが押されるたびに発光部ユニットの“**RMC**”が点灯し、リモコン信号が送られた事を示します。

4. トランシーバーを送信状態にするときには、発光部ユニットのPTTスイッチを押し、“**MIC**”に向かって送話します。

PTTスイッチを離すと、トランシーバーは受信状態にもどります。

5. **VOL**, **SQL**の各ツマミの状態を発光部ユニットで設定したあと **RMC** を一度OFFにすると、再度 **RMC** をONにしても以前の状態は保持されません（その他の機能については **RMC** のON/OFFに関係なく、発光部ユニットで設定された状態が保持されます）。
6. PTTスイッチを押したとき、および離れたときに“**RMC**”が瞬時的に点灯するのは、送受信切り換えのリモコン信号が送出されたことを示しています。
7. PTTスイッチの下に、キーを照明するためのプッシュスイッチがあります。

このスイッチを押しているあいだはキーが照明され、離すと約2秒後に照明が消灯します。

電池の交換

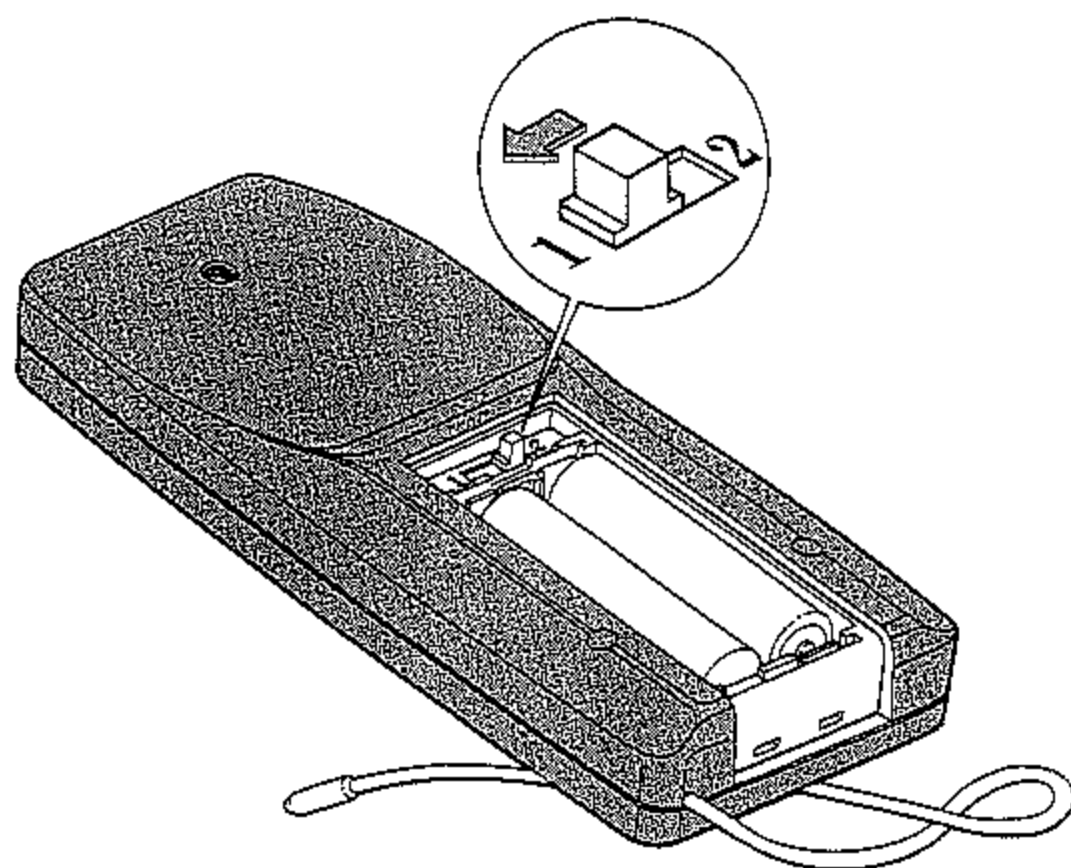
発光部ユニットの背面にある  部分を押しながら矢印方向に動かすとカバーがはずれ、電池が出てきます。

これらの電池には単四形が2本使われており、交換時には極性を間違えないようにご注意ください。

使用時のご注意

本機は、機能の拡張などがある場合を考慮して、設定SWの切り換えにより、2種類の赤外線コードが設定できるようになっています。

通常は、工場出荷時に設定してある“1”の位置でご利用ください。設定“2”の位置では動作しなくなります。



第3図 設定SWの位置

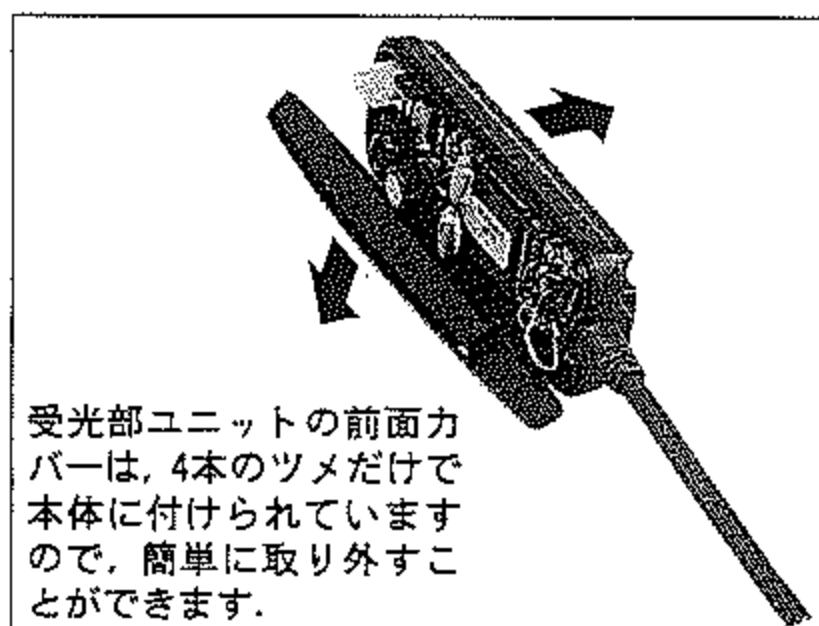
また、本機は、PTT操作を49.85MHzの微弱電波を使用してコントロールしているため、受光部ユニットをコンピューターの近くなど、ノイズの影響を受けやすい場所に設置すると、PTT操作を行わないのに送信状態になる場合があります。

このような、誤動作が生じるときには、下記に示す手順に従って、受光部ユニットを“微弱電波と赤外線両方の信号を受けたときに動作する”ように改造してください。

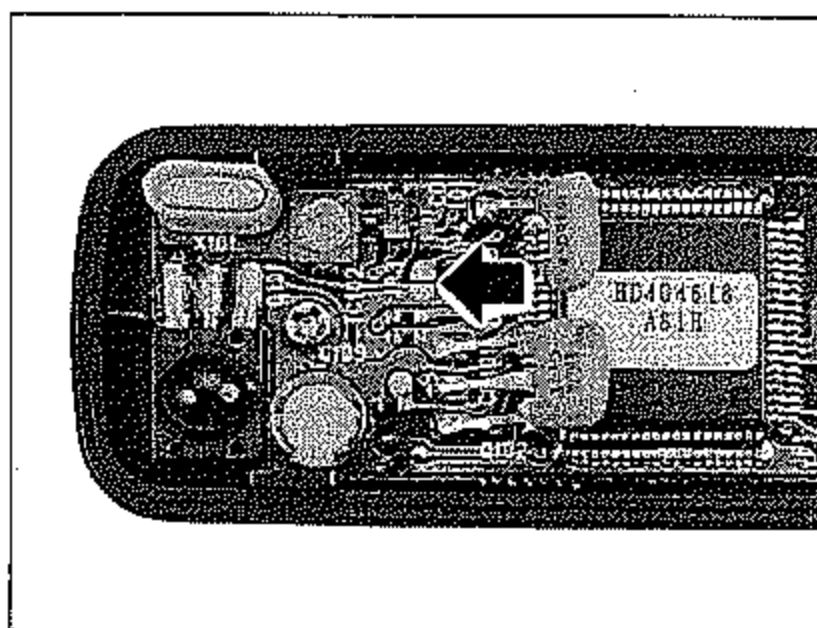
1. 第4図を参考に、受光部ユニットの前面カバーを取り外します。
2. 第5図に示した、基板上のパターン間（JP3）をハンダ等でジャンパーします。
3. 以上で改造は終了です。受光部ユニットのカバーを元通りに取り付けます。

注 この改造を行った場合には、PTT操作を行うとき（PTTスイッチを押すときと離すとき）にも、他のキー操作と同様に、発光部ユニットの先端を受光部ユニットに向けて行ってください。

この改造を当社営業所/サービスに依頼する場合には、所定の工賃を申し受けますので、ご了承ください。



第4図



第5図

さらに、次の事項にも注意してご使用ください。

1. 運転中のリモコン操作は、危険ですのでご遠慮ください。
2. 本機を放送用送信アンテナや業務用送信アンテナの近くで使用すると、誤動作する場合があります。

共通定格

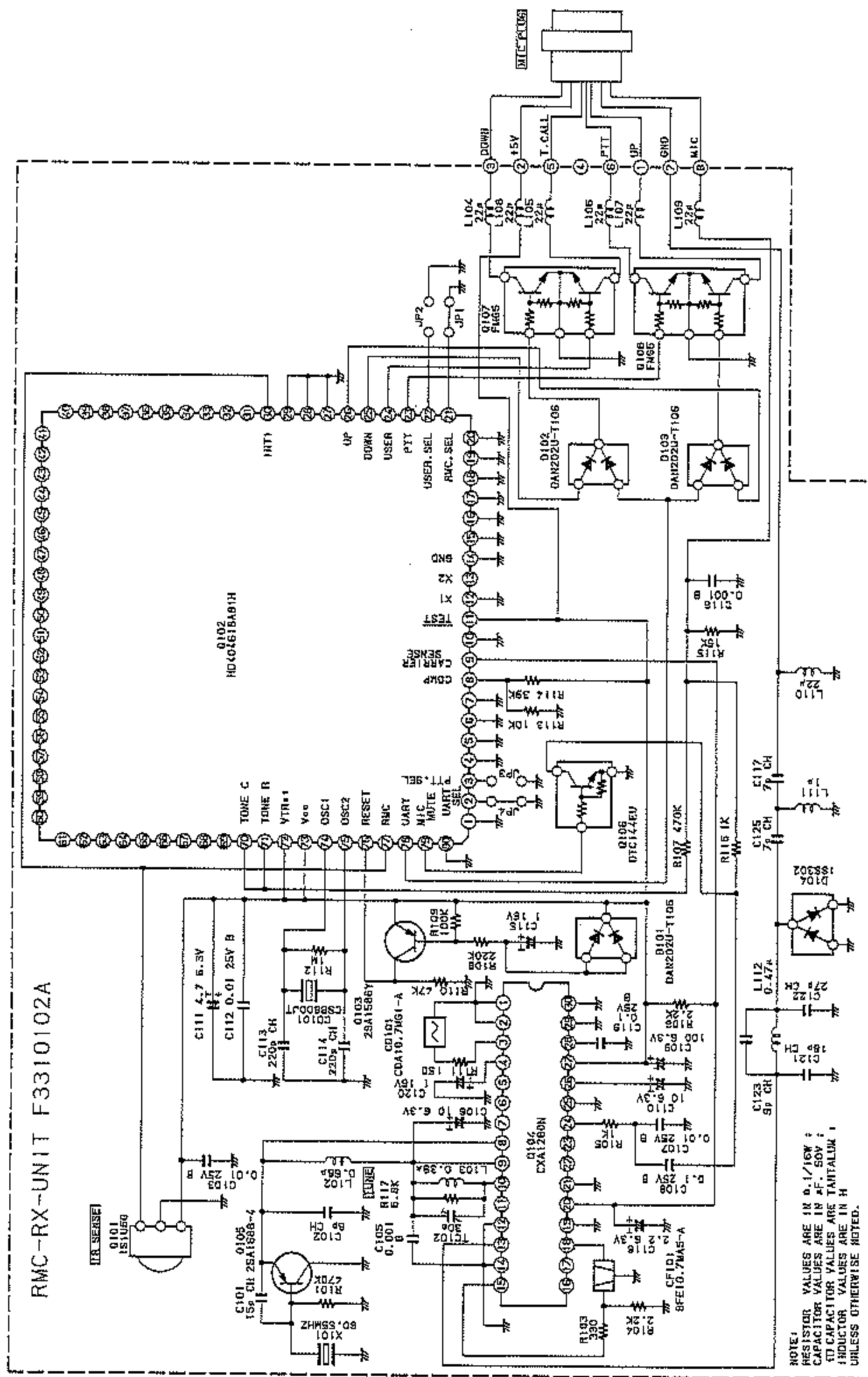
キーデータ送信	赤外線リモートコントロール
送信フォーマット	NECフォーマット
音声送受信周波数	49.85MHz (微弱電波)
電波の型式	F3E
使用温度範囲	-20°C~+60°C

受光部ユニット

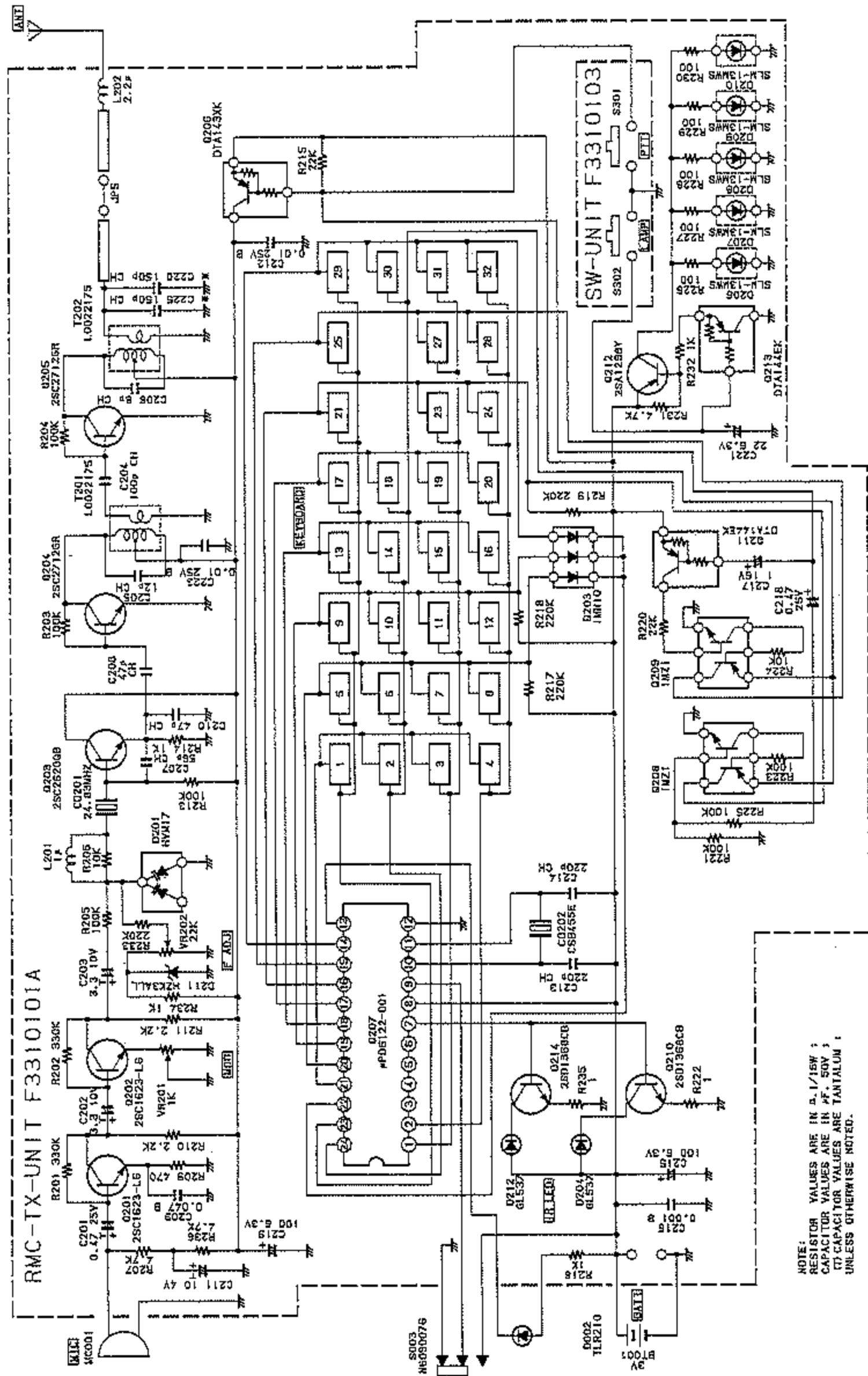
音声受信方式	シングルスーパーヘテロダイン
定格電圧	5.0V
音声受信出力	5mV (±7kHz 偏移時)
消費電流	最大15.0mA
ケース寸法	幅26×高さ16×奥行き65mm (突起物は含まず)
本体重量	約60 g (コネクタ, ケーブルを含む)

発光部ユニット

音声変調方式	リアクタンス変調
最大周波数偏移	±75kHz
定格電圧	3.0V
消費電流	音声送信時 約 9mA 赤外線発光時 約15mA (平均)
ケース寸法	幅46×高さ117×奥行き20mm (突起物は含まず)
本体重量	約90 g (単四乾電池2本含む)



RESISTOR VALUES ARE IN Ω , I/K Ω , $\pm$ 1%
CAPACITOR VALUES ARE IN pF, 50V, $\pm$ 10%
INDUCTOR VALUES ARE IN H
UNLESS OTHERWISE NOTED.



YAESU 保証書

機種名

MW-2

お買い上げ年月日

年

月

日

保証期間(本体) お買い上げ日より

1年

標記製品は当社の十分な品質管理のもとに製造され、厳密な品質機能検査に合格したことを証明致します。

■ お客様の正常な使用状態で万一故障した場合には、当社保証規定により無料修理させていただきます。

■ 修理は、お買い上げの販売店またはヤエスサービス窓口へ必ず本保証書を添えてご依頼ください。

お客様記入欄

ご住所 〒

お名前

電話番号

()

サービス 記入欄

このセットについて、または他の当社製品についてのお問い合わせは、お近くの当社営業所/サービス宛にお願いいたします。

なお、お手紙をいただくときには、お客様のご住所・ご氏名は忘れずにお書きください。



八重洲無線株式会社

営業部 ☎146 東京都大田区下丸子1-20-2

札幌営業所/サービス ☎003 札幌市白石区菊水6条1-1-33 石川ビル ☎011(823)1161

仙台営業所/サービス ☎983 仙台市若林区大和町5-6-17 ☎022(235)5678

関東営業所/サービス ☎332 埼玉県川口市弥平1-5-9 ☎048(222)0651

東京営業所 ☎108 東京都中央区八重洲1-7-7 ☎03(3271)2861

名古屋営業所/サービス ☎457 名古屋市南区戸部町2-3-4 ☎052(811)4949

大阪営業所/サービス ☎542 大阪市中央区谷町9-1-22 NK谷町ビル ☎06(763)7151

広島営業所/サービス ☎733 広島市西区己斐本町2-12-30 SKビル ☎082(273)2332

福岡営業所/サービス ☎812 福岡市博多区上牟田1-16-25 第2山本ビル ☎092(482)4082

サービスセンター ☎332 埼玉県川口市弥平1-5-9 ☎048(222)0651